

令和 5 年度事業実績報告書

社会福祉法人千歳会

目 次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	2
----------------------	---

【特別養護老人ホーム部門】

特別養護老人ホームちとせ稲毛・・・・・・・・	3～8
特別養護老人ホームちとせ小町・・・・・・・・	9～15
デイサービスセンターちとせ小町・・・・・・・・	16～19
特別養護老人ホームちとせ北本・・・・・・・・	20～27

【ケアハウス部門】

ケアハウスちとせ・・・・・・・・・・・・・・・・	28～32
デイサービスセンターちとせ・・・・・・・・	33～35
居宅介護支援センターちとせ・・・・・・・・	36～37
訪問介護ステーションちとせ・・・・・・・・	38～39
ケアハウスこまち墨田館・・・・・・・・	40～43

はじめに

社会福祉法人制度は昭和26年社会福祉事業法成立から今日に至る中で財源が税金から社会保険等の限定された制度となり、社会保障費が増大し、直接的に利用者への説明や財源を負担する者への説明責任有することなど、その環境は大幅に変化しました。

そのような中で行われた社会保障制度改革は、これまでの個々の社会福祉事業ではなく、社会福祉法人としての存在意義（他の主体との違い）、公共性や公益性や非営利性（税制との関係）、自律性（社会福祉法人としての主体的な取り組みの重要性）など、経営の「在り方」そのものが問われおり、改善へ向けた具体的な動きが社会的に求められています。一方、過去令和3年度の介護報酬改定では、0.7%のプラス改定となりましたが、このうち、0.05%は新型コロナウイルス感染症に対応するための特例的な評価でした。このことは、全サービスの基本報酬が引き上げに至った結果に対しても、制度内収入を基盤とした社会福祉法人にとっては、全国的に厳しい経営を強いられる状況が継続した1年でした。

このような中で、令和5年度の経営方針に基づき当法人は、これまで以上に透明性及び公共性の高い組織統治を行うとともに、地域の多様な福祉課題に先駆的に取り組み、その実践を発信してまいりました。同時に、安定的な事業継続の為に、既存の施設を活用しながら、介護報酬における加算取得をはじめとした収入増のための施策を積極的に図るとともに、既存のサービスの質を落とすことなく、コスト削減に努めました。

最重要課題である介護人材確保対策については、この国の人口構造からなる将来的なマンパワー減少を見据え、質の高い介護人材の確保及び定着の為に、研修制度の強化等による職員の資質の向上や、資格取得支援制度等の強化によるキャリア形成の施策を積極的に実施することにより、「魅力ある職場づくり」と「心豊かな人材育成」を目指し、安定的な人材確保に努めました。

以上により、当法人のサービスをお選びいただいた全てのご利用者様が、これまで以上に心から長寿を喜び、今この瞬間が輝きに満ちて、加齢を恐れずに毎日を楽しんで生きる暮らしの実現するため、『明日の先をつくる』という法人理念の原点に立って地域福祉の向上に貢献した1年であったと認識しております。

引き続き、職員一同で理念実現を目指し、行動指針に沿ったより良いサービス提供を地域の中で目指してまいります。

社会福祉法人 千 歳 会
理事長 左 敬 真

特別養護老人ホームちとせ稲毛

【概況】

令和5年度は、法人理念の実現に向けた行動指針を職員一人ひとりが浸透し、どのように実践で実現できるかに取り組んだ年度となりました。施設全体朝礼やユニットの申し送り時に行動指針の唱和を取り入れ、施設内に法人理念と行動指針のポスターを掲示し行動指針を覚えてもらう取り組みや、部署ごとに行動指針のエピソードを提出し共有することで行動指針の浸透に取り組んで参りました。また、毎月の行動指針の会議を開催し法人理念実現の為に行動指針で何を大切にすべきかを話し合い行動に移して参りました。

また、新型コロナウイルスの分類が2類から5類に引き下げられた事を受け、施設内の感染に留意しながらお客様の面会時間や面会人数を緩和し多くのご家族に来館していただく事ができました。更に、ちとせ稲毛はコロナ過にオープンした事で、ちとせ稲毛で家族会や納涼祭が開催できていなかった事を受け、令和5年7月9日と令和6年3月24日に家族会を開催、令和5年8月20日に納涼祭を開催する事ができ、ご家族との交流や意見交換の場を設けることが出来ました。

地域との関りでは、地域ケア会議の参加や地域の防犯パトロールの参加を行い地域住民との関係性の構築に努めて参りました。

【事業の状況】

1. 施設運営の基本的考え方

施設理念の「その人らしく生きる人生」を第一に考えて行動する。
を法人の行動指針に沿って職員一人ひとりがよく考え行動しより質の高いサービスが提供できる様に努めて参りました。

2. 主な取組み

(1) お客様へのサービス

(食事)

「美味しい食事を美味しく食べる」ことを食事の目標として、厨房、管理栄養士、介護職員、看護師それぞれが役割分担を担えるよう努めました。管理栄養士2名体制で毎日ミールラウンドを実施し、お客様の食事の摂取状況や残菜の確認を行い早期に改善に努めて参りました。

(排泄)

「快適な排泄」と排泄の目標として取り組んでまいりました。
各ユニットにて医務と連携し適切な下剤による排便コントロールを行ってまいりました。

(入浴)

ユニット内の個浴を活用すると共にお客様の状態に合わせて各フロアにあるリフト浴、寝台浴の活用をしておりますが、コロナによるリフト浴や寝台浴が実施できず、清拭での対応を余儀なくされました。

(運動)

機能訓練士1名の体制により、お客様への訓練時間が週1回15分程になり、お客様やご家族様の訓練要望も多くなり外部訪問マッサージを活用し要望に添えるような形で対応致しました。

(医療)

高洲訪問クリニックと連携しお客様の健康管理を行っており、毎週木曜日に主治医往診をして頂き、日中・夜間も含めオンコール医師と連携し状態悪化時など柔軟に対応して頂いております。

コロナワクチンも7回目まで実施し、3月には入居者全員の健康診断を実施致しました。

(2) 人材確保、教育

年度を通して、採用については常時求人票や就職フェアなどで採用活動をしてまいりました。

研修についても、ちとせアカデミーによる年間の研修スケジュールで法定研修とスキルアップ研修、階層別研修を対面研修及びリモートによる研修を実施しオンデマンドを配信して全職員が受講できる体制を組み立て実施いたしました。

(3) 地域交流、貢献

8月に地域交流の一環として、納涼祭を開催しご家族様や近隣住民の方など多くの来賓者様もお越し頂きました。面会についても感染を留意しながらより多くのご家族が面会できる様に時間帯や人数制限の解除を行い実施し致しました。また、地域のケア会議の参加、安全パトロールの参加を行い地域交流として参加しております。

3. 年間入居状況（毎月1日現在） 定員：100名（長期80名・短期20名）
（ ）内はうち短期入所利用者数

年 月	男性（名）	女性（名）	合計（名）
令和5年 4月	26(3)	70(21)	96(24)
5月	24(1)	72(20)	96(21)
6月	26(3)	68(18)	94(21)
7月	29(6)	67(16)	96(22)
8月	28(6)	67(16)	95(22)
9月	28(7)	68(15)	96(22)
10月	25(6)	68(15)	93(21)
11月	24(5)	73(18)	97(23)
12月	27(7)	71(15)	98(22)
令和6年 1月	24(4)	72(15)	96(19)
2月	24(5)	73(15)	97(20)
3月	23(6)	73(17)	96(23)

4. 年間稼働率：95.03%

5. 入居者年齢別表（令和6年3月31日現在）
（ ）内はうち短期入所利用者数

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
60歳～64歳	0	0	0
65歳～69歳	0	0	0
70歳～74歳	1	3	4
75歳～79歳	3	5(1)	8(1)
80歳～84歳	2	10(3)	12(3)
85歳～89歳	9(3)	26(4)	35(7)
90歳～94歳	4(1)	24(4)	28(5)
95歳～99歳	1	7(2)	8(2)
100歳～104歳	0	1(1)	1(1)
105歳～	0	0	0
合計	20	76	96

6. 平均年齢（令和6年3月31日現在）
男性： 86.1歳 女性：88歳 平均：87.7歳

7. 要介護度（令和6年3月31日現在）

（ ）内はうち短期入所利用者数

介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
要介護1	0	1	1
要介護2	0	1(1)	1(1)
要介護3	9(3)	18(7)	27(10)
要介護4	8	30(5)	38(5)
要介護5	3(1)	26(2)	29(3)
合計	20(4)	76(15)	96(19)

8. 平均要介護度（令和6年3月31日現在）

男性：要介護 3.9 女性：要介護 4.0 平均：要介護 4.21

9. 年間入居・退居者数

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
入居者数	8	19	27
退居者数	14	11	25

10. 入居待機者数（令和6年3月31日現在）

男性 42名 女性 60名 合計 102名

1 1. 入院者数・延べ日数

年 月	実人数（名）	延べ日数（日）
令和5年 4月	6	126
5月	2	42
6月	3	50
7月	3	60
8月	5	65
9月	5	85
10月	5	56
11月	6	81
12月	3	75
令和6年 1月	4	83
2月	4	82
3月	4	71
合 計	50	876

1 2. 教育、研修

（施設内研修）

開催日	研修内容
6月	人間力と接遇の向上
7月	福祉施設レクリエーション
9月	ミドルマネジャー育成
10月	身体拘束等の適正化
11月	感染症対策、ガウンテクニック
12月	介護事故防止、看取り介護
1月	介護事故防止
2月	虐待防止、接遇マナー

13. 開催イベント

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け、約3年間中止していたご家族を招待してのイベントも再開し、お客様とご一緒に楽しんで頂きました。

開催月	イベント内容
令和5年4月	お花見（外出）
5月	母の日、端午の節句
6月	父の日
7月	夏祭り、参議院議員選挙施設内不在者投票
8月	花火大会（敷地内）
9月	敬老会（ご家族参加）
10月	秋祭り（ご家族参加）
11月	感謝祭
12月	クリスマス会、餅つき
令和6年1月	お屠蘇ふるまい
2月	節分
3月	雛祭り、介護旅行

以上

特別養護老人ホームちとせ小町

【概況】

令和 5 年度は、原点回帰へ舵を切った一年でした。「一人ひとりの人生を豊かに」という法人理念の実現に向けた「行動指針」が導入され、職員一同その実践に取り組んできました。施設内には「理念」と「行動指針」を掲示し、職員による「行動指針」実践のエピソードを募り、皆で共有することで普段の業務への浸透を図りました。改めて千歳会の原点である「理念」を全職員が理解し、その実現に向け一歩を踏み出しました。

また、入居されるお客様のご家族との関係も、新型コロナウイルス感染症により疎遠となっていました。令和 5 年 5 月より対面での面会を再開。敬老会や秋祭りにご家族をお招きし、共にコロナ渦による閉塞した日々を労い、お客様の健康を喜び合う施設本来の姿を取り戻すことができました。

更に、ちとせ小町が地域における社会資源であるとの原点を見つめ、地域との関係を深化させました。前年度より開始した介護セミナーでは、地域住民の他、医療および福祉の他職種参加の機会として定着し、地域ケア個別会議にも施設長ならびに管理栄養士が参加しました。また、地域の買い物支援にもボランティアとして毎月参加するようになりました。秋祭りには地域の中学生やボランティアサークルも参加しました。

新型コロナウイルス感染症については、令和 6 年 1 月に複数のお客様および職員が感染したものの、PPE（個人用防護具着脱方法）やゾーニング（汚染・清潔区域の区分け）等、適正な初期対応により集団感染発生を防ぐことができ、危機管理の重要性を改めて認識しました。

事業の状況

1. 施設運営

1) 「行動指針」の導入

令和 5 年 6 月より法人理念「一人ひとりの人生を豊かに」を実現するための「行動指針」が導入されました。6 月は一か月をかけて職員への定着を図り、7 月からは「行動指針」全 6 項目について、毎月一項目づつに照らした自らのエピソードを全職員から募り、一覧にして掲示しました。毎日の朝礼で唱和する他、職員指導や課題への対応でも職員が「行動指針」に添って考えるなど、施設運営の血肉となっています。

2) 収益の改善

令和 5 年 10 月より、原則として入居する全てのお客様に訪問歯科診療の受診を奨励し、口腔衛生管理加算Ⅱを算定することとしました。これにより 43 千円／月の増収としました。

口腔ケアにより口の中の細菌や汚れを除くこと、口腔機能訓練やマッサージなどにより口の機能を維持・向上させることで、お客様の健康と生活機能の維持を図り、暮らしを守ることが第一義です。

3) 福祉専門学校との連携

令和 5 年 6 月から 8 月の期間、専門学校新国際福祉カレッジより介護実習生 2 名を受け入れました。職員は実習生への指導を通じ、改めて業務の基本を見直す機会にもなり、当施設による実習は新国際福祉カレッジからも評価され、以降の交流につながっています。

2. 環境整備等

1) 館内エアコン入れ替え

令和 5 年 6 月に、居室および館内共用部のエアコンを新規更新しました。開設から 11 年が経過し、度重なる不具合が発生していましたが、全居室および館内全系統のエアコンを交換し、お客様および職員の生活環境保全を図りました。

2) BCP（事業継続計画）の策定

合同会社グローバルリンクより協力を得て、BCP（事業継続計画）を策定しました。地震、台風といった自然災害や感染症の流行などのリスクに対して、包括的に「事業を継続するには何をすべきなのか」をあらかじめ考え、計画したものです。今後は、BCP に添った職員教育や訓練を実施し、その運用を定着させていくことが課題です。

3) 乳酸菌飲料の定期購買

高齢者による乳酸菌飲料の継続飲用は、感染症発生リスクの低減にとって有効とされています。個人で定期購買するお客様がいることから、全入居者ご家族へアンケートを実施し、希望者には施設がヤクルトを一括購入して定期的に飲用して頂くことを提案しました。その結果、多数のご家族から希望があり、令和 5 年 6 月より定期購買を実施しています。

3. 地域社会との連携

1) 介護セミナーの開催

地域貢献を意図し、前年度より開始した「介護セミナー」を、令和 5 年 5 月、8 月、同 6 年 2 月に開催。佐倉市中央公民会を定期会場とし、毎回テーマに添った外部講師を招き、地域住民の他、病院、社会福祉協議会、地域包括、民生委員、ケアマネジャー協議会等からの参加により地域交流の場として定着しています。

2) 買い物支援への参加

城の辺地区社会福祉協議会による地域住民の買い物支援事業に、ドライバーと車両を無償提供。令和 5 年 5 月より毎月 2 回、自宅から市内の大型スーパーへの買い物を送迎しています。同年 10 月には、共に同事業へ協力する社会福祉法人愛光、城の辺地区社会福祉協議会との座談会を開催し、社内報「アスサキ」に記事として掲載されました。

3) その他

佐倉地域包括支援センターからの要請により、地域ケア個別会議に南曲施設長および押尾管理栄養士がそれぞれの回に参加、地域課題を共有し、その解決にむけた協議に専門職として臨みました。

また、令和 5 年 10 月に開催した「秋祭り」には、佐倉東中学校の生徒十数名がボランティアとして参加。来場者へのおもてなしや、職員と共に踊る「ソーラン節」により会場を盛り上げた他、市内盆踊りサークルによる盆踊りでは、中学生が櫓の上で太鼓を叩いてくれました。

■ 稼働率、平均要介護度、入院等実績

1) 年間入居状況（毎月 1 日現在） 定員：100 名

（ ）内はうち短期入所利用者数

年 月	男性（名）	女性（名）	合計（名）
令和 5 年 4 月	30	66 (2)	96 (2)
5 月	30	68 (2)	98 (2)
6 月	29 (1)	69	98 (1)
7 月	29 (1)	70	99 (1)
8 月	28 (1)	66	94 (1)
9 月	28	68 (2)	96 (2)
10 月	29 (1)	67 (1)	96 (2)
11 月	27 (1)	69 (2)	96 (3)
12 月	28	65 (3)	93 (3)
令和 6 年 1 月	29 (2)	64 (5)	93 (7)
2 月	31 (1)	66 (3)	97 (4)
3 月	30 (1)	66 (2)	98 (3)

2) 年間稼働率：96.46%

3) 入居者年齢別表（令和 6 年 3 月 31 日現在）

（ ）内はうち短期入所利用者数

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
60 歳～64 歳	0	0	0
65 歳～69 歳	0	2	2
70 歳～74 歳	3	2	5
75 歳～79 歳	4	6	10
80 歳～84 歳	7	12	19
85 歳～89 歳	8	16	24
90 歳～94 歳	4	15 (1)	19 (1)
95 歳～99 歳	4	10	14
100 歳～104 歳	0	5	5
105 歳～	0	0	0
合計	31	68	99

4) 平均年齢（令和 6 年 3 月 31 日現在）

男性：84.6 歳 女性：88.1 歳 平均：87.0 歳

5) 要介護度（令和 6 年 3 月 31 日現在）

（ ）内はうち短期入所利用者数

介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
要介護 1	0	1（1）	1（1）
要介護 2	0	0	0
要介護 3	8	13	21
要介護 4	15	31	46
要介護 5	8	23	31
合計	31	68	99

6) 平均要介護度（令和 6 年 3 月 31 日現在）

男性：要介護 4.00 女性：要介護 4.15 平均：要介護 4.10

7) 年間入居・退居者数

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
入居者数	14	20	34
退居者数	12	19	31

8) 入居待機者数（令和 6 年 3 月 31 日現在）

男性 26 名 女性 28 名 合計 54 名

9) 入院者数・延べ日数

年 月	実人数（名）	延べ日数（日）
令和5年 4月	6	51
5月	10	109
6月	10	70
7月	9	105
8月	9	90
9月	8	49
10月	9	113
11月	7	48
12月	5	27
令和6年 1月	3	45
2月	3	27
3月	1	22
合 計	80	756

■ 教育、研修
(施設内研修)

開催日	研修内容
6月	人間力と接遇の向上
7月	福祉施設レクリエーション
9月	ミドルマネジャー育成
10月	身体拘束等の適正化
11月	感染症対策、ガウンテクニック
12月	介護事故防止、看取り介護
1月	介護事故防止
2月	虐待防止、接遇マナー

■ 開催イベント

新型コロナウイルス感染症の５類感染症移行を受け、約３年間中止していたご家族を招待してのイベントも再開し、お客様とご一緒に楽しんで頂きました。

開催月	イベント内容
令和５年４月	お花見（外出）
５月	母の日、端午の節句
６月	父の日
７月	夏祭り、参議院議員選挙施設内不在者投票
８月	花火大会（敷地内）
９月	敬老会（ご家族参加）
１０月	秋祭り（ご家族参加）
１１月	感謝祭
１２月	クリスマス会、餅つき
令和６年１月	お屠蘇ふるまい
２月	節分
３月	雛祭り、介護旅行

以上

デイサービスセンターちとせ小町

【概況】

デイサービスセンターちとせ小町では、ご利用頂いたお客様が、その日を豊かな気持ちにしてお帰り頂けるよう、季節のイベントやレクリエーション、機能訓練など、職員一人ひとりがおもてなしの精神をもってサービスの提供に努めて参りました。

レクリエーションでは、“楽しく、明るく、元気に”をモットーに、お客様は毎日汗をかきつつも、笑いが絶えないレクリエーションの提供に努めました。

イベントは、お客様に事前に食べたい物のアンケートを取りお客様と一緒に作る手作りランチイベントが、毎月大変好評でした。加えて、昨年度から実施している講師を招いたシニアヨガ教室は、毎月の開催をとて楽しみにされているお客様も多く、好評を頂いています。

身体機能や意欲向上のための機能訓練を兼ねた外出も継続しています。4月には花見、10月はコスモスを見に出掛けました。外出会は参加されたお客様全員が意欲に行動され、普段なかなか歩かない方々も楽しそうに歩いて頂けたことが印象的でした。

実績については、事業所内でのコロナ感染があり、実績を大きく落としてしまった月もありましたが、収束後の営業活動に注力し、令和5年度の稼働率は前年より2.3%上昇することができました。

令和6年度も、お客様の必要とするサービスの提供と、安定した事業運営ができるよう職員一同努めて参ります。

1) 年間利用者数（1 か月の定員＝450 人以下）

定員：月～金曜日 18 名、土曜日 10 名

年 月	1 日の平均利用者数	1 か月の合計数	稼働率（％）
令和 5 年 4 月	13.56	339	84.2
5 月	13.59	367	80.8
6 月	13.31	346	79.4
7 月	10.92	284	66.4
8 月	13.04	352	77.5
9 月	12.88	335	78.3
10 月	13.64	356	79.0
11 月	14.23	370	84.9
12 月	13.19	343	80.1
令和 5 年 1 月	12.92	323	77.3
2 月	12.08	320	80.0
3 月	13.04	339	79.2

2) 平均利用者数：13.03 人（前年比＋0.26 人）

年間稼働率：78.9％（前年比＋2.3％）

3) 新規獲得者数：16 名（前年比＋3 名）

利用休止・中止者数：12 名

純 増 数：4 名

4) 年間単価平均（食事代 600 円含まず）

10,998 円／回

5) 利用者年齢別表（令和6年3月31日時点）

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
60歳以下	0	0	0
60歳～64歳	0	0	0
65歳～69歳	0	0	0
70歳～74歳	0	1	1
75歳～79歳	0	4	4
80歳～84歳	4	8	12
85歳～89歳	3	8	11
90歳～94歳	1	9	10
95歳～99歳	0	2	2
100歳～104歳	0	0	0
合計	8	32	40

6) 平均年齢

男性：87.87歳 女性：86.06歳 全体：86.57歳

7) 要介護度（令和6年3月31日時点）

要介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
事業対象者	0	0	0
要支援1	0	2	2
要支援2	3	4	7
要介護1	1	11	12
要介護2	4	9	13
要介護3	0	3	3
要介護4	0	2	2
要介護5	0	1	1
合計	8	32	40

9) デイサービス行事内容

4 月	お花見外出+桜と一緒に撮影会 カーリング	10 月	コスモス見学（ふるさと広場） 秋の収穫祭ゲーム
5 月	クレーンゲーム 物送りゲーム ボーリング	11 月	バランスゲーム 焼きサンマバランスゲーム おせんべい焼けたかな？
6 月	体力測定 傘玉入れ 洗濯干しゲーム	12 月	体力測定 クリスマス会 小町デイ年末感謝祭
7 月	タワーを作ろう 金魚すくいゲーム お化け退治ゲーム	1 月	張り子の辰作り ミニバスケ すごろくゲーム
8 月	夏祭り ひまわり見学 風船バレー	2 月	節分（豆まき） コロコロキック カウボーイゲーム
9 月	体力測定 敬老会 運動会	3 月	体力測定 ひな祭り 野球玉入れ
各月	お誕生会 移動パン販売 上肢・下肢運動レク シニアヨガ	各月	手作り昼食 手作りおやつ 季節制作（壁飾り作りなど）

以上

特別養護老人ホームちとせ北本

【概況】

令和5年度は、開設から4年目を迎え、施設運営の安定化に加え、居宅介護支援事業所の新規開設後の安定化、特養の居室4床増床後の稼働の維持、特定技能人材の受け入れ及び定着など、新たな取り組みにチャレンジした令和4年度の「安定化」を図る年となりました。ちとせ北本はこの一年間で地域社会を支える福祉インフラ機能が一層強化され、力強く前進する一年となりました。

新型コロナウイルスの感染予防については、家族の対面面会の制限や外出の自粛、施設内における消毒・除菌、御来所者の検温・手洗い・マスク着用の徹底、令和4年度同様、感染予防対策には細心の注意を払い重点的に取り組んで参りました。一方で、令和5年3月から面会制限を大幅に見直し、予約なしでの面会を可能とし、人数制限も撤廃しました。

稼働については、4床増床した初月である令和5年4月は、88.0%でスタートを切りましたが、徐々に稼働が安定し、令和6年3月には98.4%となり、概ね安定して高稼働を維持できていたため、年間平均稼働率は94.5%の成績となっております。

1. 取り組み

(1) 居宅介護支援事業所ちとせ北本の安定化

居宅介護支援事業所は令和4年5月1日付で開設し同年6月より本格稼働、稼働開始から9か月目の翌年2月には契約件数が担当件数上限を超える40件に到達し、初年度から好調な成績を残す事ができております。

令和5年度においても、毎月40件近くの契約件数、毎月5件以上の認定調査件数と安定した運営ができています。

(2) 特養増床後の稼働安定化

当施設の利用を待機されるお客様を一人でも多くお迎えしたい一心で、ちとせ北本は令和5年4月1日から最大で104名のお客様をお迎えできる施設となりました。

毎月1日現在の入居状況は、令和5年4月は97床、同年5月は98床でスタートを切りましたが、同年6月から令和6年3月まで、100床以上となっており、稼働の安定化を図ることができております。

(3) 特定技能人材の定着

令和4年度から、ちとせ北本が千歳会初の特定技能人材受入れ施設となり、現在10名の特定技能職員が活躍しております。採用した人材は、いずれも、日本語検定で一定水準以上の能力を有し、お客様や職員間とのコミュニケーションは何不自由なく図れる語学力を有しております。また、既に日本で特定技能実習生として3年間他施設において就業された方が多く、来日前には母国インドネシアにおいて看護大学を卒業し看護師として就業していた方等も含まれております。基礎学力、知識、技術面において、高い水準の能力を有し、何より人を思いやる優しさ、目上の方を敬う心など、豊かな人間性を兼ね備えた人材ばかりで、お客様にも仲間である職員にも快く受入れられている。令和6年度4月1日付で、特定技能職員からユニットリーダーとなる職員がいるなど、現在お客様の暮らしを支える戦力として第一線で活躍しております。

2. ケアの取り組み

(1) 看取りケアについて

お客様とご家族様の希望を尊重し、そこに可能な限り寄り添い、安らかな最期を迎えられるために、嘱託医はじめ施設内の専門職や各部署が連携しながら、看取りを対応致しました。

現在ご入居中のお客様におかれましても、ちとせ北本で最期を迎えたいと強く希望される方が殆どです。今後も委員会を通し、多職種にわたる職員で共通認識を高め、お客様やご家族様へ寄り添ったケアに努めて参ります。

(2) フロア毎の取り組み

1階「いやしのフロア」

医療的なケアが必要で他の施設等で断られた方でも、私たちが何とか看ることができないものか常に慎重に検討し、可能な限り積極的に受入れて参りました。

具体的には、経管栄養（胃ろう、経鼻）、ストーマ、バルーンカテーテル、人口膀胱（要暴行洗浄）、人工透析の方、在宅酸素、インスリン管理の方の利用実績がございます。

お客様の受入れにおいては、一つひとつ丁寧に、誠実に、可能な限り断らない受入れの姿勢で、この4年間取り組んで参りました。

「困ったときのちとせ北本」「医療的ケアが必要な方にも対応できるちとせ北本」として、地域のソーシャルワーカーやケアマネジャーの皆様から頼って頂ける存在になりました。

2 階「なごみのフロア」

認知症の方が中心のフロアとなっており、お客様お一人おひとりがその方らしく、伸びやかに暮らして頂いております。コロナ禍においても感染対策を徹底したうえで季節行事やレクリエーションを実施し、日々の暮らしを通じてお客様が輝く、個性が生きるケアを今後も継続して参ります。

3 階「いきいきフロア」

施設の中では最もADLが高く自立支援に向けたフロアですが、長引くコロナ禍での制限ある環境下において、ADL低下を招かない様に、機能訓練指導員が中心となり、定期的にADL値を測定しながら個別機能訓練に力を注いで参りました。また、各ユニット職員が試行錯誤のうえ様々な工夫を凝らし、四季を感じる行事やレクリエーションを度々実施して、少しでもご満足頂ける様に取り組みました。

お客様の人生が豊かになるために、お客様と一緒に幸福の追求を支援させて頂く事は、私たち職員の幸せでもあります。

3. 健全な施設運営

(1) 既存契約内容の見直し

令和5年度は、あらゆる物価が高騰し、水道光熱費、消耗品をはじめとする購入物品の多くに「値上がり」が生じました。常に節電、節水を心掛け、また、購入物品に関しては、相見積を取り寄せながら、品質を落とさず価格を抑えて入手できる様努めております。

(2) 収益最大化を目指して（継続施策）

収益最大化のための次の3点について、今年度も重点的に取り組んで参りました。

①要介護度の見直し

お客様が現在認定を受けている要介護度について、その要介護度がはたして適正であるか否か見直しを行い、明らかに乖離のあるお客様については、区分変更の申請を実施。令和3年度以降、取組みを継続しております。

令和3年度 平均介護度 3.62

令和4年度 平均介護度 3.87

令和5年度 平均介護度 3.95

②既存加算の算定維持

令和4年6月より、管理栄養士を2名配置し、栄養マネジメント強化加算の算定しております。医師、管理栄養士、看護師等と共同して作成した栄養ケア計画に従い、食事の観察を週に3回以上実施、お客様お一人おひとりの栄養状態、嗜好等を踏まえた食事の調整等を実施するなど、これまで以上にきめ細やかな栄養ケアマネジメントを実施しております。なお、当加算の算定により年間約4,000,000円の増収が見込まれます。

現在算定中の加算は下記の通りです。令和6年度においても引き続き算定要件を満たす施設運営に取り組んで参ります。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ・介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ） | ・介護職員処遇改善加算（Ⅰ） |
| ・介護職員ベースアップ等支援加算 | ・夜勤職員配置加算（Ⅱロ） |
| ・日常生活継続支援加算 | ・看護体制加算（Ⅰロ、Ⅱロ） |
| ・看取り介護体制加算（Ⅰ） | ・個別機能訓練加算（Ⅰ）（Ⅱ） |
| ・栄養マネジメント強化体制加算 | ・療養食加算 |
| ・科学的介護推進体制加算 | ・褥瘡マネジメント加算 |
| ・排泄支援加算 | ・安全対策体制加算 |
| ・ADL維持等加算（Ⅰ） | ・生産性向上推進体制加算（Ⅱ） |

③高稼働維持のためのベッドコントロール

前年度に引き続き、入院により生じる空室を含めた空床利用のショートステイ受入れを積極的に実施。長期入所に必要な準備が整うまでの間、先ずはショートステイでご利用頂く等、社会資源である居室を1室たりとも1日たりとも無駄にしない運営を心掛けるとともに、高稼働率の維持と売上の向上を目指した居室活用を行いました。

（3）地域社会との対話と交歓

前年度から引き続き、コロナ感染対策の観点から社会との連携を図る機会を持つことが困難な一年となりましたが、令和5年11月に実施したプロレス秋祭り際には、地域のボランティアの方をお招きし、感染対策を施した中で開催することができました。できることから少しずつ地域社会との対話と交歓を実践していきたい考えでおります。

（4）美味しい・楽しい食事の提供

管理栄養士のミールラウンドによる嗜好調査、また、給食委託会社であるみんなの給食株式会社様のご協力の下、季節の料理や行事食の提供（花見弁

当、七夕メニュー、敬老会弁当、ハロウィンメニュー、クリスマスメニュー、年越しメニュー、おせち料理、七草粥、節分、お寿司、ひな祭りメニュー)等も実施でき、お客様に大変ご満足いただける安全で美味しい食事の提供ができました。

(5) 面会の対応について

面会については、長らくリモート面会、または、面会予約の上で1日2家族まで居室外での面会という対応となっておりましたが、コロナ感染状況が落ち着いた令和6年3月に、予約不要、家族数の制限なし、居室での面会対応を開始致しました。

(6) 施設行事の取り組み

令和2年にちとせ北本がオープンして以来、コロナウイルスの影響により施設行事にも制限がある中で、季節を感じながらお客様が暮らしの中に楽しみを持つことを大切に、ユニット単位、フロア単位での季節行事を中心に組み込んで参りました。その一方で、令和5年9月の敬老会においては、ご家族様に出席して頂くことができ、お客様、ご家族共に笑顔が見られ、大変喜んでいただけたと感じております。

(7) 各種会議、委員会、クラブ活動

・入所判定会議	毎月1回開催
・リーダー会議	毎月1回開催
・運営会議	毎月1回開催
・事故防止、身体拘束、虐待防止委員会	毎月1回開催
・感染委員会	毎月1回開催
・褥瘡委員会	毎月1回開催
・衛生委員会／安全衛生委員会	毎月1回開催
・給食委員会	毎月1回開催
・看取り委員会	毎月1回開催
・研修委員会	毎月1回開催
・料理クラブ	毎月2回開催

■稼働率、平均介護度実績、入院などの実績

① 年間入居状況（毎月 1 日現在） 定員：104 名

年 月	男性（名）	女性（名）	合計（名）
令和 5 年 4 月	28(1)	69(5)	97(6)
5 月	30(2)	68(3)	98(5)
6 月	30(2)	70(1)	100(3)
7 月	30(2)	71(2)	101(4)
8 月	32(2)	71(2)	103(4)
9 月	31(1)	72(2)	103(3)
10 月	31(1)	71(1)	102(2)
11 月	29(0)	73(2)	102(2)
12 月	28(0)	72(1)	100(1)
令和 6 年 1 月	27(0)	73(1)	100(1)
2 月	27(0)	74(1)	101(1)
3 月	27(0)	76(2)	103(2)

② 年間稼働率：94.5%

③ 入居者年齢別表（令和 6 年 3 月 31 日現在）

（ ）内はうち短期入所利用者数

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
60 歳～64 歳	0	0	0
65 歳～69 歳	1	2	3
70 歳～74 歳	4	3	7
75 歳～79 歳	2	5	7
80 歳～84 歳	7	17	24
85 歳～89 歳	7	26	33
90 歳～94 歳	5	10	15
95 歳～99 歳	2	11	13
100 歳～104 歳	0	1	1
105 歳～	0	0	0
合計	28	75	103

④ 平均年齢（令和 6 年 3 月 31 日現在）

男性：83.5 歳 女性：85.6 歳 平均：85.7 歳

⑤ 介護度（令和 6 年 3 月 31 日現在）

在）※長期入所のみ

介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
要介護 1	1	0	1
要介護 2	0	1	1
要介護 3	8	12	20
要介護 4	8	43	51
要介護 5	11	17	28
合計	28	75	103

⑥ 平均介護度（令和 6 年 3 月 31 日現在）

男性：要介護 4.00 女性：要介護 3.93 平均：要介護 3.95

⑦ 年間入居・退居者数

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
入居者数	18	50	68
退居者数	19	43	62

⑧ 入居待機者数（令和 6 年 3 月 31 日現在）

男性 4 名 女性 10 名 合計 14 名

⑨ 入院者数・延べ日数

年 月	実人数（名）	延べ日数（日）
令和 5 年 4 月	8	99
5 月	8	112
6 月	5	69
7 月	2	31
8 月	6	56
9 月	6	76
10 月	8	79
11 月	6	81
12 月	3	49
令和 6 年 1 月	1	57
2 月	2	27
3 月	2	9
合 計	57	745

以上

ケアハウスちとせ

【概況】

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症に対して正しい知識と予防対策がきちんと出来ており、罹患者からの感染者は発生しませんでした。

日常生活を活性化する上での新たな取り組みとして、外部ボランティアを導入、また、地域との交流を目的とした秋祭りを開催しました。イベント開催時には法人外他施設との交流も深めることが出来ました。社会とのつながりを保持し、自立した生活を長く続けて行くため、刺激を受けることのできるイベントやレクリエーションの企画運営に努めて参りました。

食事の面では、お客様が自ら育てた農作物を食事にと入りいれ、食べる喜びを実感することで生活を豊かに、生き甲斐を持てるようにして参りました。

また、各お客様を担当する介護支援専門員との情報共有を迅速に行い、自立した生活が営めるよう必要とされる介護サービスの提案とケアハウスちとせとして協力出来るサービスの提案を行い、関係機関と共にお客様の生活の見直しを進めて参りました。引き続き、お客様の生活が潤い活性化し、1日でも長くケアハウスちとせでの生活が続けられるような環境づくりに努めて参ります。

■ 詳細状況報告

1. 年間入居者、退居者数

年 月	入所			退所		
	男性	女性	計	男性	女性	計
令和4年4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	1	0	1	1	1	2
7月	0	1	1	0	0	0
8月	0	1	1	1	0	1
9月	0	0	0	0	0	0
10月	0	2	2	1	1	2
11月	0	0	0	0	0	0
12月	2	1	3	2	1	3
令和5年1月	0	1	1	0	1	1
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0
合 計	3	6	9	5	4	9

2. 年間稼働率

99.98%

3. 入居者年齢別表（令和6年3月末日時点）

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
60歳以下	0	0	0
60歳～64歳	0	0	0
65歳～69歳	1	1	2
70歳～74歳	0	0	0
75歳～79歳	5	3	8
80歳～84歳	5	6	11
85歳～89歳	3	25	28
90歳～94歳	3	5	8
95歳～99歳	0	3	3
100歳～104歳	0	0	0
合 計	17	43	60

4. 平均年齢

男性：82.3 歳 女性：88.3 歳 平均：85 歳

5. 要介護度（令和 6 年 3 月末日時点）

要介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
事業対象者	0	0	0
要支援 1	3	5	8
要支援 2	2	7	9
要介護 1	6	14	20
要介護 2	2	7	9
要介護 3	0	2	2
要介護 4	0	0	0
要介護 5	0	0	0
自立	4	8	12
合計	17	43	60

6. 平均要介護度

1.4（要介護 1～要介護 2 の間）

※要支援は 0.375 基準(厚生労働省 HP より)

7. 入居前住所（令和 6 年 3 月末日時点）

住所地	男性（名）	女性（名）	合計（名）
佐倉市内	14	31	45
習志野市	0	1	1
印西市	0	1	1
富里市	1	0	1
成田市	0	2	2
八街市	1	1	2
茂原市	0	1	1
市川市	0	1	1
千葉市	0	1	1
他県	1	4	5
合計	17	43	60

8. 年間入居・退居者数

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
入居者数	3	6	9
退居者数	5	4	9

9. 平均在所期間

3.7 年

10. 退居理由

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
死 亡	0	0	0
病気で入院	0	0	0
他施設へ入所	5	3	8
在 宅	0	1	1

11. 入居待機者数（令和6年3月末日時点）

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
待機者数	2	7	9

12. 業務改善点

【入居者関連】

- ・入居申し込み、待機者減少の為、継続的に地域包括支援センターおよび居宅介護支援事業所を訪問し、関係づくりとパンフレット配布を実施。
- ・空室期間の圧縮と稼働率の改善(1回の入退居につき空室期間7日以内)。
- ・ADLの維持、QOLの向上に繋がる行事の充実化。
- ・定期的な水分摂取が難しい方に向けた配茶サービスの実施。
- ・居室環境の確認強化。
- ・毎月のレクリエーションを見直し、外部ボランティアによる「シニアヨガ」や参加型の合唱、傾聴ボランティアの導入。

1 3. 年間行事

4 月	・里芋植え付け ・チューリップ ・春の宴	10 月	・さつま芋収穫 ・秋祭り ・コスモス見学 ・佐倉市花火大会見学
5 月	・草ぶえの丘バラ園見学 ・房の駅買い物ツアー ・菖蒲湯	11 月	・里芋 ・大根収穫 ・焼き芋
6 月	・さつま芋植え付け ・じゃが芋収穫	12 月	・ゆず湯
7 月	・ひまわり見学 ・スイカ割り ・じゃがいも収穫	1 月	・甘酒喫茶 ・書初め ・餅つき
8 月	・かき氷 ・駄菓子紐引き ・ところてん	2 月	・豆まき ・バレンタイン喫茶 ・河津桜、梅の花見学
9 月	・敬老会	3 月	・ひな祭り喫茶 ・じゃがいも植え付け

* 毎月定期的に入居者懇談会、シニアヨガ、卓球、カレンダー制作、ストレッチ体操、頭の体操、手作業(手芸、工芸)、ちとせカフェ、日曜喫茶、散歩等を実施しました。買い物ツアーは新型コロナウイルスの動向を見ながら再開しております。毎月第 3 週目はハッピーランチ週間として、海鮮、ご膳、天ぷら、鍋(冬季)などバラエティーに富んだメニューを提供しました。

以上

デイサービスセンターちとせ

【概況】

令和 5 年度は 4 月より「行動指針」が掲示され、各職員の仕事への意識を変えていくことができました。

初の取り組みとして、8 月にはお客様のご家族にデイサービスセンターちとせを見学して頂く機会を持ち、実際のパワーリハビリの体験や、おやつを召し上がって頂きました。また 9 月には「行動指針」の一つである「地域の誇りとされる存在になる」を企図し、近隣居宅介護支援事業所のケアマネジャーを招待し、「事例発表会」を行いました。機能訓練指導員による運動により ADL および QOL の維持向上が達成できた事例を発表することで、ケアマネジャーからの評価を頂き、紹介率の向上につながりました。

稼働率も平均 88%を維持し、お休みされた方への振替ご案内や、イベント企画時の追加のご案内がスムーズに行えております。

「地域から必要とされ選ばれるデイサービス」として、お客様が住み慣れた地域で 1 日でも長く在宅生活を継続できるよう、今後も各部署との連携を強化し、サービスの提供に努めて参ります。

1. 年間利用者数 定員：35 名

年 月	1 日の平均利用者数	1 か月の合計数	稼働率 (%)
令和 5 年 4 月	30.4	759	85.9
5 月	30.3	819	86.6
6 月	32.2	797	87.5
7 月	30.7	799	87.8
8 月	30.9	833	88.2
9 月	28.7	745	81.8
10 月	30.0	779	85.6
11 月	30.0	780	89.8
12 月	31.4	817	89.7
令和 6 年 1 月	30.5	762	87.0
2 月	30.6	764	87.3
3 月	30.8	801	88.0

2. 平均利用者数：33.1 人
 年間稼働率：87.1%
 要介護者平均利用回数／週：2.7 回

3. 新規獲得者数：32 名
 利用休止・中止者数：28 名
 純増数：4 名

4. 年間単価平均（食事代 600 円含まず）
 平均単価：8,912 円／人

5. 利用者年齢別表（令和 6 年 3 月 31 日時点）

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
60 歳以下	0	0	0
60 歳～64 歳	0	0	0
65 歳～69 歳	0	2	2
70 歳～74 歳	1	2	3
75 歳～79 歳	7	2	9
80 歳～84 歳	11	15	26
85 歳～89 歳	3	24	27
90 歳～94 歳	3	9	12
95 歳～99 歳	0	9	9
100 歳～104 歳	0	1	1
合計	25	64	89

6. 平均年齢
 男性：82 歳 女性：86.96 歳 全体：81.97 歳

7. 要介護度（令和6年3月31日時点）

要介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
事業対象者	0	0	0
要支援1	2	3	5
要支援2	4	13	17
要介護1	7	22	29
要介護2	7	16	23
要介護3	3	5	8
要介護4	2	4	6
要介護5	0	1	1
合計	25	64	89

8. デイサービス行事内容

4月	・チューリップフェスタ ・クレープ喫茶	10月	・秋のスポーツ大会 ・秋祭り（おにぎり） ・ハロウィンカフェ
5月	・千代田鯉のぼり見学 ・菖蒲湯 ・母の日イベント	11月	・感謝祭 ・フルーツカフェ
6月	・春の大運動会 ・父の日イベント	12月	・クリスマスパーティー ・焼き芋パーティー ・ちとせ忘年会
7月	・七夕祭り	1月	・ちとせ新年会
8月	・スイカ割り ・かき氷祭り ・夏祭り	2月	・節分 ・バレンタインカフェ
9月	・敬老会 ・手作りおやつ	3月	・ひな祭り ・焼き芋パーティー ・ホワイトデーカフェ
各月	・上映会、誕生会 ・パン販売 ・音楽セラピー	各月	・ハッピーランチ週間 ・合唱会 ・手作業の日

以上

居宅介護支援センターちとせ

【概況】

令和 5 年度は、年間延べ 1,520 件のケアプラン作成業務を行いました。令和 4 年 5 月より取得した「特定事業所加算 A」の算定を維持することで年間の収益を安定させることもできました。また令和 5 年度は、特定事業者加算取得事業所として、千葉県社会福祉協議会より、千葉県介護支援専門員実務研修実習受け入れ事業所としての依頼があり、1 名の介護支援専門員実務研修者を受け入れ無事修了させることができました。

居宅介護支援専門員 1 名の受け持ち件数を 100%に近づける為、佐倉市内の 5 か所の地域包括支援センターに向けた営業活動を強化し、新規獲得に努めて参りました。

法人内事業所および系列事業所である敬徳会の紹介には特に注力し、同一施設内の通所介護事業、訪問介護事業とも連携し、令和 6 年 3 月現在法人内事業所への紹介率は 64%、敬徳会には 75%を維持しました。また、特別養護老人ホーム拠点への長期および短期入居者紹介についても強化に努め、サービス利用を繋ぐ橋渡し役としての意識が根付いた一年となりました。

今後もケアハウスちとせ入居のお客様の受け入れを積極的に行うことで各事業所と情報を共有し、迅速なサービス提供対応を心掛け、一人のお客様の暮らしを法人内で支えることができる体制を整えて参ります。

1. 年間請求実績

年 月	介 護	予防事業	総合事業	合計 (件)
令和 5 年 3 月	82	22	13	117
5 月	87	22	12	121
6 月	90	24	12	126
7 月	87	22	15	124
8 月	85	25	13	120
9 月	82	28	17	127
10 月	82	28	18	128
11 月	79	27	19	125
12 月	86	27	22	135
令和 6 年 1 月	80	29	21	130
2 月	77	31	19	127
3 月	85	36	19	140

2. 平均要介護度：1.26（令和 6 年 3 月 31 日現在）

3. 平均単価

・ 予防＋総合事業：4,686 円／人

・ 介護：16,756 円／人

以上

訪問介護ステーションちとせ

【概況】

令和 5 年度は、新規依頼を出来る限り受け入れるよう調整し、専門性の高い身体介護も受け入れることで、サービス提供に努めて参りました。

4 月には週 4 日（朝夕、一日 2 回）訪問していたお客様が入所、ならびに他 3 名が入院されるなど、一時的に訪問件数が減少となりました。単価についても、身体二人介助の単価の高いお客様の入所により、減少となりました。

訪問件数回復の為、積極的に内外の居宅支援事業所からの新規を受け入れていましたが、9 月より、パート職員の出勤日数減少に伴い、現行の訪問件数に対応困難となりました。一部のお客様を、系列であるきわみ訪問介護事業所に引き継いで頂くことで対応しましたが、訪問件数は減少となりました。

11 月からは体制を整え、きわみ訪問介護事業所に引き継いだお客様を戻し、また、急な新規依頼に即日対応するなど、出来る限り依頼を受け入れる努力を行いました。状態の変化に伴い、急に毎日の訪問が必要になったお客様への対応など、地域の社会資源として役割を果たすことに努めました。その結果、訪問件数が増加し、空き枠がほぼない状態にまで回復させることが出来ました。

令和 5 年度は訪問件数回復に努めて参りましたが、今後は状態悪化による件数の増加は、終了時に大きく収入減少となってしまうため、安定した収入維持が出来る体制づくりが課題となります。

1. 年間利用者数

年 月	1 か月の利用者数 (人)	1 か月の訪問件数 (件)	1 日あたり訪問件数 (件)
令和 5 年 4 月	51	297	9.9
5 月	59	333	10.7
6 月	55	332	11.1
7 月	57	340	11.0
8 月	57	358	11.5
9 月	48	291	9.7
10 月	52	290	9.4
11 月	59	322	10.7
12 月	58	360	12.0
令和 6 年 1 月	60	358	12.3
2 月	59	376	13.0
3 月	58	402	13.0

2. 年間平均訪問件数

11.2 件／日

3. ご利用者年齢別表（令和 6 年 3 月 31 日現在）

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
50 歳～54 歳	0	1	1
55 歳～59 歳	0	0	0
60 歳～64 歳	0	1	1
65 歳～69 歳	0	2	2
70 歳～74 歳	1	0	1
75 歳～79 歳	4	2	6
80 歳～84 歳	5	6	11
85 歳～89 歳	4	21	25
90 歳～94 歳	2	5	7
95 歳～99 歳	0	4	4
合計	16	42	58

4. 平均年齢（令和 6 年 3 月 31 日現在）

男性：82.6 歳 女性：85.1 歳 全体：83.9 歳

5. 要介護度（令和 6 年 3 月 31 日時点）

要介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
事業対象者	0	0	0
要支援 1	4	3	7
要支援 2	4	10	14
要介護 1	5	17	22
要介護 2	1	8	9
要介護 3	1	1	2
要介護 4	1	2	3
要介護 5	0	1	1
合計	16	42	58

平均要介護度 1.22（令和 6 年 3 月 31 日現在）

以上

ケアハウスこまち墨田館

【概況】

ケアハウスこまち墨田館は、社会福祉法人 千歳会の基本理念である「一人ひとりの人生を豊かに」の実現を目指し、自立支援を促しながら、様々なお客様に対して個別のサポート体制を提案をして、少しでも長く楽しく生活して頂けるように事業を推進してまいりました。

令和5年度は、地域交流を深めるべく、まず、墨田区で力を入れている食育活動の研修に参加し、食で人が育まれるのは高齢者でも同じであり、食材を選ぶ喜び、作る喜び、食べれる喜びを感じてもらい、お客様の笑顔が増えて、生きがいや夢にまで繋がっていくことを実感できました。

そして、ボランティア団体2か所との交流をはかり、ボランティアの受入れ体制を整えました。このことから、地域での存在価値を高めるとともに、職員の資質向上にも努めました。

また、様々な生活課題や悩みを抱えるお客様に対して、担当フロア制を設け、各お客様に3ヶ月に1度、個別支援計画書を見直し、課題整理・個別支援の充実に努めました。

区役所、地域包括、訪問看護、訪問リハビリ、訪問歯科、など地域の他業種との連携を図り、お客様に寄り添いながらサービス提供を行ってまいりました。

来年度は、さらに豊かで心地よい生活が送れますよう、心のケアも大切にしながら、様々な取り組みを行ってまいります。

■ 詳細状況報告

1) 年間入居者、退去者数

	入所			退所		
	男性	女性	計	男性	女性	計
令和5年5月	1	0	1	0	1	1
令和5年7月	0	1	0	0	1	1
令和5年11月	0	1	1	1	1	2
令和5年12月	0	2	2	0	0	0
令和6年3月	0	0	0	1	0	1
合 計	1	4	5	2	3	5

2) 年間稼働率： 100%（毎月1日にお客様が在籍している実績に基づく）

3) 入居者年齢別表（令和3年3月末日時点）

年齢層	男性（名）	女性（名）	合計（名）
60歳以下	0	0	0
60歳～64歳	0	0	0
65歳～69歳	0	1	1
70歳～74歳	0	2	2
75歳～79歳	2	1	3
80歳～84歳	0	1	1
85歳～89歳	1	10	11
90歳～94歳	0	2	2
95歳～99歳	0	0	0
100歳～104歳	0	0	0
合計	3	17	20

4) 平均年齢

男性：80.9歳 女性：84.3歳 平均：82.6歳

5) 要介護度（令和3年3月末日時点）

要介護度	男性（名）	女性（名）	合計（名）
事業対象者	0	0	0
要支援1	0	2	2
要支援2	0	3	3
要介護1	1	3	4
要介護2	0	3	3
要介護3	1	3	4
要介護4	0	0	0
要介護5	0	1	1
自立	1	2	3
合計	3	17	20

6) 平均要介護度 1.44

※自立はゼロ、要支援1・2は0.375として平均要介護度を算出。

（厚生労働省HPより）

7) 入居前住所（令和3年3月末日時点）

住所地	男性（名）	女性（名）	合計（名）
墨田区	3	17	20
合計	3	17	20

8) 年間入居・退居者数

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
入居者数	1	4	5
退居者数	1	4	5

9) 平均在所期間：3.7年

10) 退居理由

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
入院	1	1	2
他施設入所	1	2	3

11) 入居待機者数（令和5年3月末日時点）

	男性（名）	女性（名）	合計（名）
待機者数	4	4	8

12) 業務改善点

【入居者関連】

- ・時間経過に伴い、待機者が待てず他の施設へ入居してしまうケースがあったため、新たに待機者増加に向けた取り組みとして、区役所、地域包括、ボランティア団体などの交流を深め、今後は依頼のあった食堂・屋上開放などの実施や集客イベントなどを行い、集客数増加に繋げる。
- ・墨田館開設から6年たち、コロナ過の自粛などでADL低下してしまったお客様、ケガや病気により介護度が上がってしまったお客様に対しては特に注意深く観察し、地域のお客種との連携を図り、出来る最高のサービス提供に努める。また、介護度のない方、継続した状態のお客様に対しても、感染予防に努めながら、これまで以上に健やかに楽しく生活できるよう、サポートしていく必要がある。
- ・また、長期入居に伴い、お客様同士のトラブルなどがみられることもあるため、職員が間に入り、円滑な交流ができるよう、サポートしていく必要がある。

【食事関連】

- ・開設 6 年が経過したため、改めてお客様へ嗜好調査のアンケートを実施し、今後の食事提供のより良いサービスに向けての検証が必要である。

13) 主行事（実績）

- 4 月 宮前公園 花見（おやつ）
- 7 月 隅田川花火屋上見物（ビール）
- 8 月 すいか割り
- 9 月 敬老会（刺身）
- 12 月 クリスマス会（ケーキ）
- 2 月 節分（豆まき）
- 3 月 梅見物 香取神社

入居者様全体懇談会（毎月）、入居者様健康診断（年 1 回）、防災訓練（年 2 回）、行事等に合わせて手芸・工作とぬり絵クラブの開催。

以上